



平成 29 年 4 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 井阪 隆一  
(コード番号 3382 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 IR 部シニアオフィサー 金子 裕司  
(TEL. 03-6238-3000)

## 当社子会社（株式会社セブン - イレブン・ジャパン）における セブン - イレブン・チャージ 1%特別減額についてのお知らせ

当社の子会社である株式会社セブン - イレブン・ジャパンは、本日（平成 29 年 4 月 6 日）、持続的な成長を実現するため、セブン - イレブン・チャージ 1%特別減額の実施を決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. セブン - イレブン・チャージ 1%特別減額の背景

セブン - イレブン・ジャパンは平成 29 年 2 月末現在 19,422 店舗を展開し、加盟店オーナー様との「共存共栄」の理念のもと、変革への挑戦を続けています。一方、国内の雇用環境は最低賃金の上昇や有効求人倍率の上昇、社会保険加入対象の拡大等を受け、より厳しさを増しています。

このような環境の中、加盟店オーナー様がより拡大均衡の店舗経営に専念できる環境を整備するとともに、将来の加盟促進に向けた施策として、セブン - イレブン・チャージ 1%特別減額を当面の間、実施することを決定いたしました。

#### 2. 開始日 平成 29 年 9 月 1 日（金）～当面の間

#### 3. 持続的成長に向けた施策

セブン - イレブン・ジャパンは、高齢化や単身世帯の増加、働く女性の増加といった社会構造の変化を成長機会と捉え、「食の外部化」ニーズに対応した品揃えを拡充したことにより、売上の増加や荒利率の改善に寄与しております。今後も更なるニーズの拡大に対応するため、平成 30 年 2 月期より、売上が伸長しているフライヤー等のカウンター商品やデイリー商品、冷凍食品の売場を拡大する店舗レイアウトの変更に着手いたします。

これまでもセブン - イレブン・ジャパンは、「SEVEN CAFÉ（セブンカフェ）」の販売やチルド商品の販売拡大に合わせた新型什器の導入等、成長に向けた施策を継続的に行っております。平成 21 年 7 月には、加盟店様における廃棄ロス（食品廃棄）原価の 15%負担を開始するとともに、「近くて便利」な店の政策により店舗・商品・サービスにおけるイノベーションを継続した結果、既存店売上は好調を持続しています。

なお、平成 29 年 1 月より店舗従業員の作業効率の改善を図り接客サービスの質を高めるために、フライヤー等のカウンター商品の販売什器を洗浄するための業務用食洗機の導入を開始しました。

また、更なる作業改善を目指し、電波の送受信により、非接触で IC チップの中のデータを読み書きする技術（RFID）を活用した検品作業の省力化等の実証実験にも取り組むなど、持続的成長に向けた施策を継続してまいります。

#### 4. 業績への影響

本件による平成 30 年 2 月期の当社連結業績、及びセブン - イレブン・ジャパン単体業績への影響は、下期に約 80 億円を見込んでおります。

なお、平成 32 年 2 月期までの中期経営計画は、セブン - イレブン・チャージ 1%特別減額を織り込んだ数値を公表しております。

以 上